

news 88

第23号
2002年10月

株式会社プリマ楽器
〒103-0004 東京都中央区東日本橋1-1-8
TEL 03-3866-2221(業務部) TEL 03-3866-2224(営業部)
FAX 03-3866-2222 http://www.prima-gakki.co.jp/
札幌営業所
〒060-0031 北海道札幌市中央区北1条東9-11-50
TEL 011-219-7121 FAX 011-219-7115

“片手だけのレッスン”



さこた ときお
迫田 時雄

10年ぐらい前になるでしょうか。中学生の男の子をお持ちのお母様の訪問を受けました。「息子は音楽大好き人間ですが、最近少し元気がないのです。何か良い方法はありますか? ただ、この子は生まれた時の事故で、左手の指先がありません。」この坊やは、中学生とはいえもう立派な体格で、9度をつかめるしっかりした右手を持っていました。さすが音楽大好き人間だけあって、音感・読譜力などまったく問題なく、だたちょっと引っ込み思案気味でした。

ピアニストは誰でも片手の練習の有効さは知っています。しかし片手だけのレッスンは初めてでしたから、今までのやり方では意味が無いことが、すぐわかりました。最初はあの名曲「猫ふんじゃった」を右手とペダルで弾くことから始めました。椅子の場所・体や腕の使い方・指や頭の訓練など、レッスンは毎度工夫・工夫で、実に愉快でした。彼も興味が出たのか、一生懸命勉強し、ある時、私が関係している「音楽療法懇話会(学会)」で「片手奏法の実際」のテーマで発表した時には、準備や演奏を手伝ってくれたりしました。大学受験を迎えたが、優秀な頭脳の持ち主でしたので、なんなく志望校へ進学。その後、噂では「中国通」になって留学したとか。

もう立派な青年として、今ごろ、彼女の前での時弾いてくれたバッハの「メヌエット」をサラリと右手で弾いて、ピックリさせているかも知れません。あるいはもう忘れちゃったかな? 楽しかったレッスンの思い出です。

プロフィール

武蔵野音大助教授。著書に「片手(右、左)の為のピアノ作品集(日、韓、中、英、独、訳版)」(ドイツ、ノイマン社より近日出版ほか)。



★ドレミ楽譜出版社

●ビギナーのためのハノン 指の動きを良くするピアノ・ワーク

内藤雅子・森本琢郎 共編 72頁 本体1,000円+税 10月上旬予定
ビギナーに必要な課題を取りだし、無理無くやさしくテクニックの学習が出来るようにまとめました。子供から大人まで、すべてのビギナーに使って頂けます。五指の独立、スケール、コード、アルペジオ等。

●これ なんのおど? いちばんさいしょのピアノえほん

遠藤幸三・倉橋ミキ 共著 48頁 本体1,000円+税 10月上旬予定
だれもが1度は声にしたことがあります。慣れ親しんだことのある言葉や音を使った音楽絵本です。なぞなぞをしながら、落書きをしながら子供達が音楽の楽しさにふれるきっかけになる1冊です。

●やっぱりピアノがすき! 連弾曲集1・2

橋本見一編 各80頁 各本体1,200円+税 10月下旬予定
やっぱりピアノがすき上下巻、やっぱりピアノがすきピアノ名曲集の独奏曲を中心に子供の歌からクラシック名曲までを4手連弾用に編曲したものです。

●ともだちの一と0~6改訂版 リトミック・ソルフェージュ

石丸由里編著 各48頁 各550円+税 10月中旬
初めて音楽を学ぶ子供のためのノートです。色々な角度から音楽を体験する事が出来ます。ともだちピアノと併せて用いるとより効果的。1部改訂し、一層使いやすくなりました。

★全音楽譜出版社

●イタリア ピアノ名曲選集

ヴェルディ・ブッチーニ・マスカーニ・ドニゼッティ

関 孝弘 校訂・解説 88頁 本体1,500円+税

イタリアの大作曲家4人の知られざる珠玉のオリジナル・ピアノ曲の数々を収載。音楽の原点を学ぶには最適の1冊です。全21曲。

★サーベル社

●よいこのピアノ2 (たのしいレパートリー歌詞付き)

遠藤 菲子著 64頁 本体1,200円+税

小さい生徒がピアノを習い始める時に楽しく進めるように考えられたテキスト歌詞も付いているので元気に歌って楽しめる。全3巻予定。

★カワイ出版

●レッスンダイアリー2003 教室運営のために

木下早苗著 B6版 160頁 本体1,000円+税

教室を運営されている先生にぴったりの手帳です。煩わしい教室管理が簡単に出来る画期的な手帳です。五線紙付き、スケジュールは2色カラー。

★音楽之友社

●プレ・ピアノランド3

樹原涼子著 52頁 1,300円+税 10月中旬予定

著者が提唱している2段階導入法の第1段階としてのプレピアノランド1・2の準備のあとに、これらを生かしシンプルでやさしい曲を丁寧に仕上げる。

●チャレンジ! 音楽療法2003

176頁 本体1,500円+税 10月11日発売予定

まじめに真摯に音楽療法に取り組みたい人のために! 話題のヘルスリズムス他、最新情報満載。各種教育機関他、関連データベース完備

★ヤマハミュージックメディア

●大人からはじめるハノン教本

無理無くできる指のトレーニング

64頁 予価1,000円+税 10月下旬発売予定

好きな曲が弾きたい、でも思うように動かない…そんな時にはこの一冊。ハノンを大人から無理なく始められるように編集し充実したアドバイスで学習者をやさしくサポート。

●うたう指づくり ピアノ名曲レパートリー3・4・5

上達を早めるために【原田敦子 ピアノ基礎テクニック】

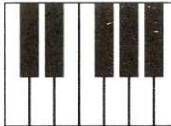
原田敦子著 10月下旬～11月発売予定

3 - 160頁 1,800円+税 中級者向け

4 - 180頁 1,900円+税 中級～上級者向け

5 - 200頁 2,000円+税 上級者向け

メソッドの実践編としての曲集!との強いご要望にお答えし、うたう指づくりピアノ名曲レパートリーが誕生しました。この曲集はバイブルのように進むべき道を示してくれる事でしょう。



ピアノ指導の 現場から



たき やすみ
多喜 靖美

♪ピアノのすすめ♪

私は音楽大学在学中から現在に至るまで延べ何百人の子供達にピアノを教えてきました。初めの頃の生徒達は殆ど全員がピアニストを志して音楽大学を目指していましたが、いつの頃からかピアノは専門的に学びたいが飽くまでも趣味でという人達が増えています。そのような生徒達の多くは、中学受験であれ高校や大学受験であれ殆ど直前までレッスンを休まず続けながら、それに専念して必死で臨んでも難しいといわれる超難関校に見事に合格しているのです。初めの頃は、私の所にはタマタマ優秀な子が多いなあと軽く考えていましたが、あまりにも次々とそのような事例を見ていると単なる偶然とは思えなくなっていました。考察を繰り返すうちに、ピアノ演奏の楽しさをマスターしてゆく過程で自然に行っている知的トレーニングが功を奏しているのではないかと確信するに至ったのです。

どんな簡単な曲でも、ピアノで音楽を表現するには楽譜を読み取ること、すなわち曲名・調性・拍子・曲想・音高・音の長さ・指番号・強弱等々多岐に渡る事柄の理解が必要です。でも、多くの事柄を覚るという事を先行させるのではなく、音楽表現の楽しさを体感する中で自然にそれら全てを理解させる指導方法があります。「表現する」というのがどういう事なのかを具体的に学ばせ、その面白さを実感させるやり方です。楽しみながら上達しオマケに知力もアップする、そんな虫の良い方法があるとしたら?

現在、自宅でのレッスンの他、各地の講演会や公開レッスン、指導者の勉強会で、演劇や美術などの表現と比較した「音楽表現とその楽しさ」についてお話ししています。興味のある方は是非一度覗いてみて下さい。

ピアノが弾けるようになって…世界的なピアニストや、国内で活動する演奏家、ピアノ教師を目指すのも良し。友人や家族に楽しんで貰えればそれも最高。でもそれさえ叶わなくても、自分で自分の為に弾いて楽しむ。こんな素敵で贅沢なことはありませんよね。プロアマ問わず一人でも多くのピアノ愛好家が増えていて欲しいと願っています！

プロフィール

桐原学園大学音楽学部演奏学科ピアノ専攻卒業。国内を始めアジア、ヨーロッパ、アメリカ各地において主に室内楽を中心にソロ、協奏曲、伴奏、現代曲の作品発表など多方面に活躍し好評を得ている。最近ではチェコのマルティナー弦楽四重奏団、ボラードのワルシャワ・フィル=コンサートマスター他、スロヴァキアのドヴォルザーク弦楽四重奏団、チェコ・フィルハーモニー六重奏団と共に共演。また、門下生から数多くのピアニストや国内外のコンクール入賞者を輩出し、後進育成の面でも高い評価を受けている。1993年ドイツ・ザクセン地方独立協会、1994年イギリス・イートンカレッジ、1995年イギリス・カーディフスクールより招聘を受け生徒と共に渡欧し各地でコンサートを行う。大和日英基金、日本クラシック音楽協会優秀賞、(社) 全日本ピアノ指導者協会指導者賞、トヨタ指導者賞他受賞。

現在、演奏活動、教授活動の他、各種コンクールの審査、各地で演奏法・指導法の講演等を行っている。ミュージック・スタジオ特別顧問、ピアノ・ミュージック・アカデミー講師。(社) 日本演奏連盟会員、(社) 全日本ピアノ指導者協会正会員。



~連載~ ピアノレッスンの今後

Music Key Lesson レポート♪♪♪♪♪

岩瀬洋子・田村智子

私たちの生徒の中には、「首振り名人」が何人かいます。この「首振り名人」とは、何かたずねたときに、イエスなら首をたてに、ノーなら首を横に、わからないときは首を斜めに…といった具合に、首だけを使って返事をする生徒のことです。決して声を出さない、決して自分から意見を言わない、そんな生徒がもうずいぶん前からいました。レッスンの中で、どうしたら本人の言葉で自分の考えを伝えることができるか…そのため教師はどう関わっていったらよいのか、あれこれと試行錯誤を繰り返していました。そのかいあってか、生徒たちも活発におしゃべりをしたり、私たちに聞いてほしいことだけレッスンが終わってもなかなか帰りましたが知らない生徒も出てきました。そんな中、形の変わったタイプの生徒があらわれました。ある意味では、前記の「首振り名人」よりも深刻な状態なのです。それは、話をすること自体がおっくうで、人に会うのもいや、電話もいいや、人に話を聞いてもららなくてまっぴら!つまり員のように閉じこもってしまう生徒です。なにかをこちらから話すことえためらってします。壁を相手に一人芝居のようなレッスン。教師にとってもこれは辛く、時には投げ出してしまいたくなることもあります。けれどもつくづくピアノの教師でよかったです!と思えるのは、音楽というものを媒体にした方法で生徒の心の内なるところへ入り込めるということです。音楽の持っている力…世の中で悲惨なことが起こったとき、人々は心の叫びを歌であらわし音楽で癒されます。ピアノ教師の役割は、ピアノを上手に弾かせること、テクニックをつけること、?? ?それだけではないはずです。私たちは、こう考えます。憎しみを増幅させるような社会ではなく、温かみのある自然や生き物に対して思いやりを持てる、そんな心を音楽を通じて育む場所…それがピアノの教室ではないかと。今回は、ちょっとセンチメンタルな内容になってしまいましたが、昨年の9月11日世界貿易センター爆破事件から起きた様々な世の中の変化、心の痛い日々が続きました。世界の各地で起る悲しみを追悼したい気持ちと共に、微弱ながら音楽と接する者として、思いやりある生徒に育ててほしいと願わずにはいられません。そんなことを踏まえながらきょうもレッスンをします。

☆☆☆講座のご案内☆☆☆

●魅力的なピアノ教室実現のための「導入指導マスター講座」講師：岩瀬洋子
今「ピアノのおけいこ」のあり方（練習しない親子で根気がないなど）に多くのピアノ教師が悩んでいます。そこで現状を踏まえた「魅力的な教師（指導）、教室作り」が今真剣に求められています。この講座はそのために何が必要か、実践できる「指導者としてのテクニック」を学べる、まさに今の時代に求められる講座です。受講者は[Music Key認定証]を取得できます。

【東京】[日時] 11/8. 12/6 （全て金曜日）9:45～12:00
[会場] 東京芸術劇場第5会議室（池袋駅西口徒歩3分）

●「アルフレッドレベル別講座」講師：田村智子

[日時] 9:45～12:00
10/18（基礎コース5）11/15（基礎コース6）12/13（応用編）
[会場] 池袋芸術劇場第7会議室 9時45分～12時

●生徒の環境を踏まえ実践に即した「ピアノ指導法」

（まさかの怖～い落とし穴基礎編）
[日時] 11/5 10:30～12:30 [会場] 沼津すみや

（ミュージックキー055-989-3900 担当：植松）

●魅力的なピアノ教室実現のための「ディプロマコース」講師：岩瀬洋子

これは上記講座修了者がさらに深く学習できるよう実践的な内容で進められます。30分のレッスンの具体的な進め方や指導の中で押さえ所などデモレッスンなども取り入れていきます。受講者は[Music Key Diploma]を取得できます。

【熊谷】[日時] 11/5. 12/3. 1/24. 2/21. 3/14. 4/18. 5/16
（全て金曜日）10:00～12:00
[会場] タニタ楽器5Fホール (0485-21-5721担当：前野)



マエストロの 觀点

“聴衆と演奏家”

小田野 宏之

(おだのひろゆき 指揮者)



もう3年前のことになりますが、日本のあるアマチュアオーケストラとウイーンで演奏会をしました。留学時代からあちらの聴衆の正直さ=手厳しさは身にしみていたのですが、結果としてかなり挑戦的なプログラムになってしまいました。楽友協会大ホールを埋めた聴衆は、音を出す前の私たちを暖かく迎えてくれました。1曲目の若手日本人作曲家による曲は、洋楽の手法によりながらも龍笛が登場したり彼らにとって珍しい和音や旋法が現れたり、指揮をして聴衆の好奇心に満ちたものすごい集中力を痛いほど背中に感じました。2曲目はウイーン・フィルのR.キュヒル氏をソリストに迎えてのベートーベンのヴァイオリン協奏曲。我々には十分に冒険的なプログラムでしたが、氏との音楽的一体感のある集中した演奏は、たとえ一時だけでもウイーンの音楽家になったような錯覚を覚えるものでした。終演後の拍手の何と暖かかったこと! 氏がウイーンでいかに大切にされているかを思い知らされました。我々の心配をよそに休憩後も客席は満員のまま、最後の曲はシューマンの第1交響曲。これは私自身の賭けでもありました。楽譜を音にするだけでは音楽にならないシューマンをどこまで本場の聴衆に楽しんでもらえるか、留学以来常に追求している私のヨーロッパ的感覚の全てをある意味ニュートラルな日本のアマチュアオケに注ぎ込んで共に作り上げた世界を、晴れの舞台で心を込めて思い切り表現しました。この時の聴衆の厳しくも暖かい集中力がどれほど我々を助けてくれたことか。私の中のどこかに残っていた不安は、もうこの時には消え去っていました。思いもよらなかったスタンディング・オベーションを受けた時の皆の顔の輝きといったら! 実は我々全員の賭けがまだあったのでした。アンコールとしてJ.シュトラウスの「新ビチャート・ポルカ」を演奏すること! さすがにこの無謀とも言える挑戦には、タマゴを投げつけられても仕方ない(?)という覚悟もありました。指揮をしながらちらっと客席を窺うと、しかし聴衆は皆ニコニコしながらボルカを楽しんでいるではありませんか。終わった後の拍手はもしかしたらシューマンよりも盛大だったかも? 私たちの演奏を心から楽しんでくれたことへの感謝の気持ち一杯で一杯で、感無量の一言でした。

「聴衆が演奏家を育てる」という言葉をほんの一部でも実感として味わった、忘れられない体験でした。そして、演奏会というものは演奏者と聴衆との共同作業であることをあらためて確認したのでした。

筑波大学管弦楽団第52回定期演奏会

2002年11月4日(月)14:00開演 ノバホール(つくば)

小田野 宏之 指揮 / 筑波大学管弦楽団 全自由席(前売券800円、当日券1,000円)
ベートーベン：序曲「コリオラン」Op.62, R.シュトラウス：交響詩「ドン・ファン」Op.20, ブラームス：交響曲第3番ヘ長調Op.90

茅ヶ崎交響楽団第37回定期演奏会

2002年11月10日(日)14:00開演 茅ヶ崎市民文化会館大ホール

小田野 宏之 指揮 / 茅ヶ崎交響楽団 全自由席(1,000円)
ワーグナー：「ニュルンベルクのマイスター」前奏曲
シューベルト：交響曲第8番「未完成」

チャイコフスキイ：交響曲第6番ロ短調「悲愴」

筆者プロフィール

東京芸術大学音楽学部指揮科卒業。同大学大学院修了。

大阪センチュリー交響楽団指揮者、広島交響楽団正指揮者を歴任。

東京芸術大学非常勤講師。